

# Swal

## I. 認識配列

5'.....ATTT▼AAAT.....3'  
 3'.....TAAA▲TTTA.....5'

## II. 保存

-20℃

## III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 µl 中、1 µg の M13mp19 DNA を 25℃、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

## IV. 起源

*Staphylococcus warneri*

## V. 形状

400 mM NaCl  
 10 mM Tris-HCl (pH 7.4)  
 0.1 mM EDTA  
 1 mM DTT  
 0.2 mg/ml BSA  
 50% Glycerol

## VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 25℃  
 ・バッファー : H  
   +BSA

100 mM	NaCl
50 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
10 mM	MgCl <sub>2</sub>
1 mM	DTT
0.1 mg/ml	BSA

## VII. 添付品

・10 x H Buffer (赤色ラベル)  
 ・1 mg/ml BSA Solution  
 添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。  
 制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

## VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	<5	25	75	5	75

## IX. 純度

本酵素 20 units と 1 µg の M13mp19 DNA を 25℃ で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

## X. 結合試験

本酵素で完全に切断された M13mp19 DNA フラグメントの 75% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 75% が本酵素で再切断される。

## XI. 備考

- ・ 酵素反応の際には反応バッファーの他に別添付の BSA (1 mg/ml) を反応容量の 1/10 量添加する。
- ・ 反応バッファー別相対活性表は BSA を反応系に加えていない。H buffer に BSA を添加した場合の相対活性は 100% である。
- ・ 制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
 医薬品の用途には使用しないでください。